

平成24年3月28日

白馬村長 太 田 紘 熙 様

白馬村社会福祉推進委員会
(白馬村高齢者福祉計画策定委員会)
会 長 松 澤 衛

白馬村高齢者福祉計画案について（答申）

これから迎える超高齢社会においては、住み慣れた地域で自立し、質の高い生活を送ることができるよう、それを支える仕組みを構築していくことが極めて重要となります。

社会全体で高齢者を支えるしくみとして平成12年4月に開始した介護保険制度は、サービス利用量が増加するなど制度が社会に定着してきており、居宅サービス、施設サービス、さらに地域密着サービスの供給体制が、これまでの間において段階的に整備されてきました。

しかし、高齢者の生活を支えるためには、介護保険サービスだけでなく、サービス事業者、行政、地域がこれまで以上に相互連携し、高齢者の生活を支えていくことが求められています。

このようなことを踏まえ、白馬村社会福祉推進委員会として、真に高齢者の自立支援に資するものとなるよう、白馬村高齢者福祉計画について、現場を受け持つ意見などを討議し、幅広い視点から議論を重ね答申としてまとめました。

なお、本計画の実施にあたっては、下記事項に留意していただき、白馬村がその理念となる方向に向けて取り組むことについて深い関心と大きな期待を寄せています。

記

1. 利用が受けられる各種サービスの内容については、村民に分かりやすく、かつ広く周知されたい。
2. 介護保険制度と村が行っている福祉サービスとの狭間に位置する住民のニーズに対しては柔軟に対応し、弾力的な運用を図られたい。